

# 『開花したかな？埼玉県絶滅危惧Ⅱ類タコノアシ』～初秋の三貫清水～

令和5年9月17日（日）

さいたま支部ペガサス分団

宮原駅の西約1kmを鴨川が北から南に流れています。兩岸は台地で、鴨川に沿って斜面林が続きます。斜面林の下には湧水が点在し湿地が多くみられます。湿地は植物・魚・鳥・昆虫・動物など多くの生き物の生活の場となっています。

中には貴重な生き物もいます。その一つにタコノアシがあります。水辺に自生する植物で、花穂の形が海に棲むタコの足に似ていることからこの名があります。秋になると赤く色づき、よりタコの足のようになります。しかし開発や湿地の減少などにより数が減り、埼玉県では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

このタコノアシは、鴨川右岸の何気ない公園の水路に自生しています。この公園は古くは広大な水田でした。その後埋め立てられ、長い間、草深い野原になっていました。今は公園として整備されたことで水路も整備され、タコノアシにとって以前よりはよい環境になったのかもしれませんが。

同じように珍しい植物としてハッカがあります。ハッカは日本古来のミントの仲間です。葉を千切ったときのスースーする清涼感が特徴です。湿地に自生する植物ですが、自生地が減少してきています。ここでは鴨川の左岸、斜面林下の湿地でみることができます。

この場所は歴史的な場所でもあります。室町時代には岩付城の防衛拠点として、古入間川の平潟（平方）、芝川の船橋ともに、鴨川は重要な地でした。ある時、岩付城主太田道灌はこの地を視察に訪れました。住民が湧水を沸かして茶を点てて出したところ、これを喜んだ道灌はそのほうびとして、銭三貫文を与えたといわれます。今のお金で50万円くらいといわれています。以来、ここは三貫清水と呼ばれるようになりました。また、三貫清水の南には日進堀の内と呼ばれる戦国時代の館跡のいい伝えがあります。鎌倉街道羽倉道から分かれた西に向かう古道の途中にあり、岩付の防衛拠点の一つだったのかもしれませんが。

- 1 期日 令和5年9月17日（日）  
☂ 雨天、交通事情の混乱の時は中止します。
- 2 集合 宮原駅西口 午前9時30分
- 3 解散 宮原駅西口 午前12時30分頃
- 4 自然観察ウォーキング 全行程約3.2km  
宮原駅→日進堀の内館跡→戸崎公園→三貫清水の森→宮原駅  
※天候などにより、当日になって行程を変えることもあります。
- 5 持ち物  
雨具、セロハンテープ、持っていれば双眼鏡
- 6 その他
  - ・ペガサス分団活動は参加人数を把握して資料を用意の関係上、事前の申し込みをお願いしています。
  - ・小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
  - ・途中で先に帰る場合は年齢にかかわらず保護者の方の付き添いをお願いいたします。
  - ・団体行動です。1人で行動してはいけません。用事があるときはリーダーと一緒に行動してもらいましょう。
  - ・危険なもの、まわりに迷惑をかけやすい物（刃物、ライター、モデルガンなど）は、持ってこない。
  - ・天候、交通事情、団員の健康状態等で予定を変更することもあります。